

令和2年度事業報告

少子高齢化の著しい進行に伴い、地域社会や家族の様相は大きく変容し、福祉や生活に対する課題が深刻化する中、家族の絆、地域住民の支えあいの大切さが改めて重要視されています。

そのような中、人々が様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、住民相互の支えあいによる「地域共生社会」の実現に向けて、町が策定する「第2期地域福祉計画」と基本理念「地域福祉力の向上」を共有し、「第3期地域福祉活動計画」に基づき、地域住民と共に考え、互いに協力し課題解決を図りながら、重点取り組みとして「地域福祉活動計画の推進」「他機関・多職種連携によるプラットフォーム形成の構築」「災害にも強い福祉の地域づくりの推進」「生活支援コーディネーター事業の取り組み」「美郷町福祉生活サポートセンターの機能充実」「介護保険等サービス事業の取り組み」を推進しました。

また、社会福祉法人制度改革により、全ての社会福祉法人に対して経営組織体制の強化などが求められ、あわせて、地域における公益的な活動の実施が社会福祉法人の責務となり、今後も美郷町における地域福祉を推進する責任ある団体として、コロナ禍においても滞りなく事業を推進するように努めました。

1. 地域福祉活動計画の推進

「地域福祉力の向上」を目指した3つの基本目標を推進するため、6つの取り組み目標により事業を展開しました。

【基本目標1 セルフケアの推進】

地域における出会いとつながりの場をつくり交流活動を活性化させ、地域において「絆」や「つながり」を持ち続けることができるよう、一人ひとりが地域に関心を持ち、自立生活を営む力・お互いを支えあう力の理解を深めました。

◎取り組み目標1 「地域福祉を支えるひとづくり」

- 地域福祉座談会の開催
- 福祉教育活動の推進

◎取り組み目標2 「住民参加ふれあい支援」

- 地域住民グループ支援事業の推進
- 生きがい活動支援通所事業の実施
- 老人福祉センター「雁が音苑」受託管理

【基本目標2 地域包括ケアの推進】

誰もが安心して安全に暮らせるために、福祉サービスの適切な利用ができる体制づくりを進めました。相談関係機関の情報共有により相談ネットワークシステム体制の充実強化、顔の見えるつながりあえる多職種協働による支援体制の連携システムづくりを進めました。

◎取り組み目標3「安心な暮らしを支える体制づくり」

- ・総合相談事業による相談機能の強化・日常生活自立支援事業の推進
- ・福祉あんしん電話事業の推進 ・配食サービス事業の実施
- ・一斉除排雪活動の推進 ・資金貸付事業の実施
- ・介護保険事業、障がい者福祉事業の実施 他

◎取り組み目標4「地域福祉トータルケア推進事業の強化」

- ・トータルケア推進事業 ・生活支援コーディネーター事業の推進
- ・「まめだ屋」の運営

【基本目標3 地域共生社会の推進】

ネットワーク活動を基盤にアウトリーチ（地域に出向く）を徹底し、住民同士がその解決に向けた新たな生活支援活動を開発・行動できる体制強化や地域での「気づき」を「つなぐ」見守り支えあい活動による、地域・住民・関係機関の協力による災害支援ネットワーク機能の強化を図りました。

◎取り組み目標5「ともに支えあう地域づくり」

- ・ネットワーク活動の推進（認知症 SOS・緊急一時支援）
- ・在宅介護支援センター（千畑地区）事業の推進
- ・ボランティアセンターの運営
- ・みさと福祉センターの管理運営 他

◎取り組み目標6「組織財政基盤の整備」

- ・理事会、評議員会、監事会の開催 ・各委員会の開催
- ・共同募金事業への協力 他

2. 他機関・多職種連携によるプラットフォーム形成の構築

広範多岐にわたる心配ごとや悩みごとを受け止め、総合的かつ迅速に対応できるよう医療機関、地域包括支援センター・介護関係者、社会福祉協議会等の多職種による連携を図りました。

生活困窮者の相談については、町福祉保健課との連携で生活困窮者自立支援事業へとつなぐとともに、新たにフードバンク秋田の協力のもと食料支援体制を強化しました。新型コロナウイルス感染症の影響に関する貸付については引き続き秋田県社会福祉協議会と連携し、申請窓口として相談援助を実施しました。

若年層への支援として「県南若者サポートステーション横手」による出張相談をみさと福祉センターで継続実施し、若者の就労支援相談体制の連携強化を図りました。また、メンタルヘルスの相談としてやすらぎプロジェクト「こころの健康相談サロン」を定期的に変更しました。「あきた若者サポートステーション」と共催し、「まめだ屋」を活用して若者の居場所作りによる社会参加を支援しました。

みさと福祉センターを会場にして秋田県社会福祉協議会と共催し、ボランティアリーダー養成研修「地域の居場所づくりに向けた人材養成講座」を開催しました。

3. 災害にも強い福祉の地域づくりの推進

災害時には「みさと福祉センター」が避難場所やボランティアセンターとして活用されることを踏まえて、非常時に備え職員の役割を確認し、設備・器具機材の点検整備を実施しました。今年度は特に、感染予防を考慮した避難準備を行い、センター内に保管棚を設置し非常事態に対応できるように整備しました。

また、施設の貸し出しについては感染予防対策を取り決めて実施し、安全な施設利用ができるように努めました。

緊急事案に対する協力体制の強化として、特殊詐欺被害や高齢者交通事故の多発により大仙警察署と連携しパンフレット配布等により被害・事故防止啓発活動を実施しました。

緊急支援「認知症SOSおたすけネットワークシステム」については、今年度はSOS通報発信がなかったので、協力機関へのテスト送信を行い連絡体制の確認をしました。

4. 生活支援コーディネーター事業の取り組み

生活支援コーディネーター1名（兼務）を配置し、地域包括ケアシステムの介護予防・生活支援の仕組みの構築として、高齢者の衣食住の支援に結びつくものを探するため、町内の商店を対象に日常生活支援サービスの情報収集を行いました。また、おたすけマン、老人クラブ、JA女性部と情報交換を実施し、地域の気づき、支え合いの連携について協議しました。

美郷町生活支援体制整備事業協議体と連携・協働により、地域で必要とされる生活支援サービスの開発や充実に向けて地域課題を具体的に検討し「助け合い活動」の基盤整備を進めました。

5. 美郷町福祉生活サポートセンターの機能充実

日常生活自立支援事業による「福祉生活サポートセンター」を設置、専門員1名（兼務）を配置し、生活支援員3名（各地区）とともに判断能力が弱まってきた高齢者等を対象に、福祉サービスの利用援助や日常的金銭の管理を行い、住み慣れた地域で安心して在宅生活を送れるよう支援しました。

6. 介護保険等サービス事業の取り組み

在宅サービス利用者や回数の減少と、人材確保の困難により運営状況が厳しい局面にあることから事業体制・財政面を検証し見直しを図り、訪問入浴介護事業のエリア拡大等を検討しました。

今年度、「秋田県介護サービス事業所認証評価制度」認証事業者の更新が決まったことからさらに認定事業者としての意識を高め、職員のスキルアップを図り決め細やかなサービス展開に努めました。

事業実施のあたり「新型コロナウイルス感染予防対策」に十分注意を払い、業務を進めました。

次年度は、令和4年度にスタートする「第4期地域福祉活動計画」及び「美郷町第3期地域福祉計画」を視野にいれ、地域福祉を推進する責任ある団体として、関係機関と連携・協力することによりさらなる地域福祉の醸成を目指します。また、健全で効率的な社協組織体制の確立を図るため、事業、組織体制、財政面を検証し、必要な改善策を講じることに努め、法人全体の効率化・生産性の向上、経営の効率化を推進します。

【令和2年度各事業実施状況】

【取組目標1：地域福祉を支えるひとづくり】

事業名	福祉座談会	13,754円
実施内容	◎福祉協議会活動に対する理解を深めてもらうとともに、ニーズ把握に努め、地域の問題・課題について住民の共通認識を図った。 テーマ：「誰もが安心して暮らせる地域づくり」 ◎開催期日：6月24日～9月28日 7会場（ふれあいサロン実施地区） ◎参加者数：52名	

事業名	社会福祉大会	253,438円
実施内容	◎新型コロナウイルス感染症の影響で感染拡大防止の措置を取り社会福祉大会を表彰式に変えて実施。 開催日：10月21日 会場：みさと福祉センター ◎秋田県社会福祉大会は表彰式に変更。 開催日：11月12日 会場：秋田市文化会館 ※12月2日みさと福祉センターにおいて伝達式を実施。	

事業名	福祉教育活動推進事業	754,084円
実施内容	◎町内各校のJRC活動を推進、福祉活動への関心を高め、児童生徒の福祉意識の高揚を図った。 ◎福祉教育推進連絡協議会を书面開催。 ◎町内5校（小・中・高）の福祉教育への取り組みへ助成金を交付した。 （仙南・六郷・千畑小学校各10万円、美郷中学校15万円、六郷高校10万円） ◎六郷小学校4年生総合学習支援（未来の福祉を描く・疑似体験・車椅子体験）：3月18日 ◎夏休サマースクールは新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	

【取組目標2：住民参加ふれあい支援】

事業名	地域住民グループ支援事業	1,175,867円
実施内容	◎町内会館等を利用し、地域のボランティアが自主的に運営する「ふれ愛いきいきサロン」を支援し、高齢者の生きがいづくりや孤独感の解消を図った。実施地区1か所につき活動助成金20,000円を交付した。 ◎サロンを年間12回以上開催している地区には、10月の中間報告で確認し特別加算活動助成金20,000円を交付した。 ◎サロン実施地区は48箇所、特別加算活動助成地区は11箇所 ◎脳トレやゲーム等レクリエーション用具の貸出を行い、活動を支援した。 ◎新型コロナ感染症の感染予防対策を奨励するとともに除菌シートや消毒薬等を各地区に支給した。	

事業名	生きがい活動支援通所事業	9,624,116円
実施内容	◎おおむね65歳以上の高齢者で介護保険の認定を受けていない方を対象として、通所により各種サービスを提供し社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図り、要介護状態への進行を予防した。 ◎利用者数：45名（みさと福祉センター：16名、雁が音苑：29名） ◎延べ利用人数：2,208名（みさと福祉センター：683名、雁が音苑：1,525名） ◎経年劣化による送迎バスとボイラーの故障については、全額町補助により修理することができ安全に業務を遂行した。 ◎新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し事業を継続し介護予防に努めた。	

事業名	老人福祉センター「雁が音苑」の受託管理	120,000円
実施内容	◎高齢者の健康を増進し、教養を高め高齢者ができる限り介護者状態に陥ることなく健康で生き生きとした生きがい活動のための便宜を総合的に供与し、老人福祉の増進を図った。 ◎老人福祉センターを会場とした生きがい活動支援通所事業（仙南地区）の実施。 貸出利用件数0件	

【取組目標3：安心な暮らしを支える体制づくり】

事業名	総合相談事業	496,370円
実施内容	<p>◎みさと福祉センターを相談会場とし、町内の相談機関等が連携を図り日常生活や専門的な相談に際し、町民生活の安定を図った。</p> <p>◎一般相談：専任相談員6名を委嘱し毎週水曜日開設。 (相談件数 33件)</p> <p>◎法律相談：弁護士による専門相談。随時対応。 (相談件数 9件)</p> <p>◎薬局や寺院等の協力によるまちかど相談所の実施</p> <p>◎県南若者サポートステーション横手の出張相談をみさと福祉センターを会場に3回開催した。 県南若者サポートステーション横手のリーフレットを全戸配布し相談機関の周知を図った。</p> <p>◎やすらぎプロジェクト「こころの健康相談サロン」をみさと福祉センターを会場に3回開催した。</p> <p>◎特殊詐欺被害防止パンフレット配布による啓発活動。</p>	
事業名	日常生活自立支援事業	1,115,386円
実施内容	<p>◎「福祉生活サポートセンター」を設置し専門員1名(兼務)を配置。認知症高齢者等判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用についての情報提供、利用のための手続き、料金の支払い等、日常的金銭の管理を行い安心して在宅生活を送れるよう援助し、世帯の支援を図った。 利用者数：11名 延べ相談件数：76件</p> <p>◎日常生活自立支援事業専門員連絡会議 毎月1回</p> <p>◎日常的金銭管理サービス実施状況調査 7月9日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業専門員研修会 8月4日 ・日常生活自立支援事業生活支援員研修会 10月28日 ・成年後見制度利用促進連携支援会議 10月29日 ・成年後見制度利用促進実務研修会(リモート) 11月9日 ・運営監視小委員会 1月12日 ・成年後見制度利用促進勉強会(オンライン) 2月2日 	
事業名	福祉あんしん電話事業	2,989,602円
実施内容	<p>◎65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、障害者世帯等に対し、あんしん電話を貸し出し不慮の事故や災害に備えた。</p> <p>◎24時間体制での相談支援や必要に応じ消防署・緊急協力員と連携し、緊急システムの整備を図り、世帯の安心安全な生活を支援した。 設置台数：126台 通報件数：316件</p>	
事業名	配食サービス事業	10,644,200円
実施内容	<p>◎65歳以上の高齢者世帯等で、高齢、心身の障害、傷病等により調理が困難な方に対し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認等の見守り活動を推進した。</p> <p>◎実施曜日：千畑(火・金曜日)、六郷(水・金曜日)、仙南(火・木曜日)</p> <p>◎利用者数：120名、延べ配食弁当個数：11,070食</p> <p>◎生きがいデイサービス利用者へ昼食提供(2,208食)</p>	
事業名	一斉除排雪活動事業	238,857円
実施内容	<p>◎単身老人等を対象に地域の町民、企業、団体、学校の協力を得て一斉除雪を実施、ボランティア活動を推進するとともに、高齢者が住み慣れた地域や家庭において安心して冬の暮らしができるよう支援を図った。</p> <p>実施日：1月21日、1月27日、2月12日 除雪世帯数：82件 ※感染予防のため、中学生は不参加、高校生は単独で施設の除雪を担当した。</p> <p>◎一斉除排雪活動事業検討会 11月20日</p> <p>◎仙北地区雪対策連絡協議会へ出席 11月17日</p> <p>◎豪雪に対する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急除雪ボランティアを募集し、1月16日秋田銀行行員12名が活動し3件の除雪を実施した。 ・1月13日県社協豪雪現地状況確認訪問 	

【取組目標3：安心な暮らしを支える体制づくり】

事業名	介護用品支給事業	3,204,391円
実施内容	<p>◎在宅の要介護度4・5または特別障害者・障害児童福祉手当が支給されている方を介護している家族に対し、紙おむつ等を支給し、寝たきり者の衛生保持及び在宅介護の支援を図った。</p> <p>◎延べ支給人数：474名</p>	
事業名	移送サービス	320,147円
実施内容	<p>◎寝たきり等で、福祉車両でなければ移動できない方へ移送車両を貸出し、通院などの外出支援を図った。</p> <p>◎利用件数：16件</p>	
事業名	地域子育て応援事業	154,805円
実施内容	<p>◎社協会費を財源とする子供・子育て関連事業を実施し、若い世代へ社協のPRを図った。</p> <p>◎町内の小学校に入学する新1年生に学用品を贈り、健やかな成長を見守り応援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品贈呈数：令和2年度新1年生109名 ・誕生祝い金：20名 	
事業名	資金貸付事業	1,435,434円
実施内容	<p>◎たすけあい資金貸付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時的に資金を必要とする低所得世帯に、小口現金の貸付を行い、民生児童委員と協働で世帯の更生支援を図った。長期滞納者へは8月と3月督促状を発送した。 ・相談件数：15件 ・貸付件数：13件 ・貸付残高3月末現在：624,500円、20件 <p>◎生活福祉資金貸付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田県社会福祉協議会の運営する生活福祉資金貸付事業の業務委託を受け、低所得世帯等の資金貸付の相談や申請受付を行い、民生児童委員の協力を得ながら、世帯の更生支援を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯に対応する緊急小口資金貸付、及び総合支援資金貸付の相談と申請の援助を行った。 ・相談件数：40件（内コロナ関連24件） ・申請件数：14件（内コロナ関連13件） ・秋田県社協貸付残高3月末現在：17,827,725円、27件 	
事業名	居宅介護支援事業	32,437,730円
実施内容	<p>◎利用者が有する能力に応じ、利用者に適切なサービスを提供する居宅サービス計画及び介護予防計画を作成し、在宅生活が継続できるよう支援を図った。</p> <p>◎携帯電話を利用した24時間連絡体制を取り、利用者の相談等に対応し支援を図った。</p> <p>◎介護保険事務所との委託契約により要介護認定調査を実施した。</p> <p>◎居宅サービス計画作成件数 1,695件 利用者数 134名</p> <p>◎介護予防プラン作成数 665件 (予防プラン405件、予防ケアマネジメント260件、短期集中0件) 利用者数 58名 (予防プラン35名、予防ケアマネジメント23名)</p> <p>◎認定調査件数 14件</p> <p>◎居宅介護支援事業者集団指導 3月11日</p> <p>◎新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。</p>	

【取組目標3：安心な暮らしを支える体制づくり】

事業名	訪問介護事業	11,639,506円
実施内容	<p>◎要支援・要介護状態の高齢者に対し身体介護や生活支援の訪問介護サービスの提供を行い利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援を図った。</p> <p>◎利用者数 28名（介護16名、総合12名）</p> <p>◎延べ利用回数 2,955回（介護2,136回、総合819回）</p> <p>◎実習生の受け入れ：六郷高等学校</p> <p>◎訪問介護事業者集団指導 3月11日</p> <p>◎新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。</p>	

事業名	訪問入浴介護事業	9,029,356円
実施内容	<p>◎自宅浴槽での入浴が困難な要支援・要介護状態にある高齢者等に対し、簡易浴槽を自宅に持ち込み訪問入浴介護サービスの提供を行い利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう身体の衛生保持及び世帯の支援を図った。</p> <p>◎利用者数 11名 延べ利用回数：635回</p> <p>◎訪問入浴介護事業者集団指導 3月11日</p> <p>◎新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。</p>	

事業名	障がい者福祉事業	4,819,940円
実施内容	<p>◎生活支援ホームヘルプサービス事業：65歳以上の自立高齢者を対象に家事援助・日常生活に関する支援を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 なし <p>◎障害者自立支援事業：利用者の立場に立った適切な居宅サービスを提供、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護・家事援助・同行援護サービスにより支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 居宅介護：利用者数 4名（延べ利用回数 364回） 同行援護：利用者数 1名（延べ利用回数 49回） 身体障害者入浴介護：利用者数 3名（延べ利用回数 200回） <p>◎障害福祉サービス事業所集団指導 12月21日</p> <p>◎新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。</p>	

事業名	相談支援事業（障がい者・障がい児）	1,916,270円
実施内容	<p>◎障害者総合支援法と児童福祉法の理念に基づき、利用者及び保護者の意思を尊重し、利用者等の立場に立った相談及び援助を行った。</p> <p>◎特定相談支援：利用者数 13名（延べ計画作成件数 107件）</p> <p>◎障害児相談支援：利用なし</p> <p>◎指定障害福祉サービス事業所等集団指導 12月21日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美郷町総合支援協議会全体会議 6月17日 ・美郷町総合支援協議会 実務者会議 7月10日 2月15日 ・美郷町障がい者自立支援セミナー 2月26日 <p>◎新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。</p>	

【取組目標4：地域福祉トータルケア推進事業の強化】

事業名	トータルケア推進事業	247,442円
実施内容	<p>◎トータルケア推進事業で取り組んできた地域福祉活動の事業点検を実施、住民主体の活動を支援、全ての町民が住み慣れた地域において、安全に安心して暮していけるよう地域の福祉力を高め「福祉でまちづくり」に取り組んだ。</p> <p>◎社協サポーター（福祉応援団）の登録：10名</p> <p>◎ワーキンググループの支援：いきいきパソコンクラブ活動 第20回13名、第21回9名</p> <p>◎おたすけマン事業の実施：延べ利用件数 97件、おたすけマン登録者数 10名</p> <p>◎地域の居場所づくりに向けた人材育成講座 3月25日 22名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進研修 8月6日～7日 ・CSW実践研究会研修 10月6日 ・認知症カフェセミナー（オンライン） 2月15日 ・トータルケア推進会議（オンライン） 2月22日 	

【取組目標4：地域福祉トータルケア推進事業の強化】

事業名	生活支援コーディネーター事業	2,160,000円
実施内容	<p>◎生活支援コーディネーター1名（兼務）を配置し、地域包括ケアシステムの介護予防・生活支援の仕組みの構築のため、アウトリーチを行いながら地域生活課題の把握に取り組み、多様な事業主体との地域たすけあいの安心生活の構築を目指した。</p> <p>◎地域サロン座談会でのニーズ把握及び、ふれあいサロン未実施地区への聞き取り調査</p> <p>◎地域の気付きやつながり強化に向け、老人クラブやJA女性部、商工会と連携について協議した。</p> <p>◎町内商店に協力してもらい日常生活支援サービスについて情報収集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーター研究協議会（オンライン） 11月11日 ・生活支援コーディネーター活動支援研修会（オンライン） 11月25日～26日 ・生活支援体制整備協議体全体会議において調査結果等活動状況報告 12月、3月 	

事業名	まめだ屋運営事業	607,579円
実施内容	<p>◎いつでも利用できる空き店舗活用で、閉じこもり予防、生きがいづくりを推進した。</p> <p>◎まめだ屋を会場に秋田若者サポートステーションと共催し、毎月第4水曜日に「若者の居場所作り事業」を実施。気軽に立ち寄れる若者の居場所作りを支援した。</p> <p>◎まめだ屋ボランティア：11名</p> <p>◎月2回、六郷高校生の清掃ボランティア</p> <p>◎まめだ屋活動サークルの支援：手芸教室、将棋クラブ、地区ミニデイ 等</p> <p>◎利用状況：利用団体12団体 延べ利用人数：627名</p> <p>◎新型コロナウイルス感染症の影響で、4月～5月は休館とし、それ以降は感染予防対策を講じ事業を継続した。</p>	

【取組目標5：ともに支えあう地域づくり】

事業名	ネットワーク活動の推進	1,012,191円
実施内容	<p>◎要援護者の早期発見から支援につながる“一人の不幸も見逃さない運動”を推進。民生児童委員や分野を超えた関係機関との連携・調整のもとに、高齢者世帯や支援を必要とする世帯に対する地域の見守り活動等のネットワーク（見守りの網の目）により、地域で自立した生活を支援した。</p> <p>◎地区民協定例会にコミュニティソーシャルワーカーが出席、地域課題の把握と要援護者の情報共有を図った。</p> <p>◎警察署と認知症や気になる世帯の情報共有し、訪問活動を行い世帯の支援見守りの強化を図った。</p> <p>◎生活困窮者自立支援調整会議毎月1回</p> <p>◎要援護者実態把握調査：民生児童委員の協力を得ながら、要援護者の実態調査及び生活課題（ニーズ）の把握に努め、要援護者台帳のシステム管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし等要援護者世帯調査1回（4月） ・単身世帯実態調査（通年） <p>◎緊急一時支援事業：フードバンク秋田の協力のもと困窮者への現物支給や緊急貸付等の支援体制を整備、行政等の関係機関とネットワーク支援として取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要援護者一時帰宅支援（清掃） 6月23日 ・現物支給利用者4件 <p>◎認知症SOSおたすけネットワーク：関係機関との連携によるセーフティネットワークの体制を継続した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前登録者9人、協力企業団体104件 ・検索発信なし <p>◎防火点検：南消防分署と協働し、単身老人世帯を対象に防火週間に合わせ点検を実施、火災予防に努め安全な暮らしを支援した。また、緊急情報キットの内容更新の呼びかけを行い、緊急時の対応に備えた。</p> <p>実施日：11月4日（新型コロナウイルス感染症の影響で4月は中止） 訪問世帯数：12世帯</p>	

【取組目標5：ともに支えあう地域づくり】

事業名	在宅介護支援センター事業（千畑地区）	1,986,935円
実施内容	<p>◎身近な相談窓口として、在宅において介護が必要な方に介護に関する相談や情報提供を行い、サービスの提供へつなぎ支援した。電話による相談受付は24時間体制をとり、問題解決に向けて関係機関との連携を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 1,660回 <p>◎地域の会館等で介護教室等を開催し、介護予防に努め高齢者の自立した生活を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒予防教室9回 ・健康講話1回 ・介護教室10回 <p>◎ケア会議の開催など地域包括支援センターや福祉保健課、保健センター等と相談対応の連携と情報共有を図り、多職種連による地域の問題解決の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア連絡会6回 ・地域ケア会議6回（自立支援型地域ケア会議2回） ・医療介護多職種連携研修会 2月24日 	
事業名	ボランティアセンター運営事業	948,037円
実施内容	<p>◎ボランティアセンターとしてボランティアの育成・調整により活動の参加推進を図る目的でボランティア会員研修会を共催する予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。</p> <p>◎災害ボランティアセンターとしての機能・機材・災害食の充実を図った。</p> <p>◎災害ボランティアセンターとしての感染予防対策を見直し、設備備品を整備した。</p>	
事業名	みさと福祉センターの管理・運営	4,800,019円
実施内容	<p>◎地域福祉活動の拠点として、健康・生きがい活動の増進を図り、各種の相談に応ずるとともに生活向上のための便宜等を総合的に提供し、町民の福祉の増進を図った。</p> <p>◎経年劣化による設備の修理等により施設の安全に努めた。 （修理箇所：外掲石板修理、トイレ換気扇修理、生きがいデイサービス送迎バス修理、ボイラー修理）</p> <p>◎災害備蓄用品等を備え、避難所としての機能を整備した。</p> <p>◎センターの貸出件数：221件、利用者数：3,124人</p> <p>◎新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じた上での利用とした。</p>	
事業名	罹災世帯等法外援護事業	40,000円
実施内容	<p>◎火災等の罹災した世帯に見舞金を贈り、世帯更生の一助とし支援を図った。</p> <p>◎見舞金交付：火災見舞2件</p>	
事業名	広報活動の推進	775,552円
実施内容	<p>◎福祉協議会の活動内容、福祉に係る情報を提供し、社協に対する住民理解を深めた。また、朗読ボランティア「ダンボ」の会の協力を得て、視覚障害者へ声の広報を配布した。</p> <p>◎「福祉だより」第74号、第75号、第76号を発行した。</p> <p>◎ホームページによる情報公開。</p>	

【取組目標6：組織財政基盤の整備】

事業名	理事会・評議員会・監事会	220,529円
実施内容	<p>◎法人の方針や事業内容等を理事会評議員会において検討協議し福祉協議会の健全な運営に努めた。</p> <p>◎理事会の開催 第1回 6月4日（事業報告、決算、補正予算） 第2回 9月11日（社会福祉大会、表彰式） 第3回 3月22日（事業計画案、予算案、補正予算、諸規程変更）</p> <p>◎評議員会の開催 第1回 6月19日（事業報告、決算、補正予算） 第2回 3月30日（事業計画案、予算案、補正予算、運営規程変更）</p> <p>◎監事会の開催 第1回 5月20日（年度末監査） 第2回 10月26日（中間監査）</p> <p>◎正副会長会議の開催 第1回 5月22日（今年度事業、理事会・評議員会の開催） 第2回 9月2日（福祉大会、理事会の開催、社協財政状況） 第3回 2月3日（正職員募集、新型コロナウイルス感染予防対策） 第4回 2月25日（令和2年度業務・財政状況、令和3年度事業概要・予算概要、諸規程の見直し、理事会・評議員会の開催）</p>	

事業名	委員会（委員会・専門委員会）	100,276円
実施内容	<p>◎委員会（総務運営、事業推進）専門委員会（苦情解決委員会、生活福祉資金調査委員会・たすけあい資金運営委員会）により、社会福祉協議会の事業の進捗状況や課題等について協議、福祉協議会の健全な運営に努めた。</p> <p>◎委員会 総務運営委員会1回 事業推進委員会1回</p> <p>◎専門委員会 苦情解決委員会1回 資金貸付委員会（たすけあい資金運営委員会・生活福祉資金調査委員会）2回</p>	

事業名	福祉委員会議	868,389円
実施内容	<p>◎社協事業への理解を深め、福祉委員の意識高揚を高め地域福祉活動の充実を図った。</p> <p>◎福祉委員会議の開催 千畑：6月29日、仙南：6月30日、六郷：7月1日</p>	

事業名	役員・職員研修	66,806円
実施内容	<p>◎役員・職員の資質向上と組織強化、適切な福祉サービスの提供を目指し、各種研修へ参加した。新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑えるためにリモート研修体制整備を行い、各研修リモート研修に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJTリーダー研修 9月14日 ・クレーム対応研修 10月27日 ・課題別研修Ⅰ 12月7日～8日 ・リスクマネジメント研修 12月11日 ・社会福祉法人会計実務者研修会（オンライン研修） 12月24日 ・福祉サービスに係る苦情研修会 2月3日 ・CSW実践者スキルアップ研修（オンライン研修） 2月25日 ・コミュニケーション向上研修 3月11日 ・労務管理等研修 秋田産保センター研修 8月26日、働き方改革労働基準法セミナー 9月7日 	

事業名	共同募金会事業への協力	
実施内容	<p>◎共同募金会事業への協力</p> <p>◎赤い羽根募金百貨店プロジェクト、赤い羽根自動販売機の設置への協力</p> <p>◎運営委員会2回、監事会1回、審査委員会1回、奉仕員会議1回</p> <p>◎令和2年度募金総額 6,871,106円 達成率100.1%</p> <p>◎赤い羽根募金百貨店3社、赤い羽根自動販売機設置5台</p>	